

## 平成22年度事務事業評価シート(平成21年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	05	目	04
事務事業名	開館時間及び開館日数拡大事業								
担当部署	教育委員会総合図書館大曲図書館	2209010	電話	62-1012				内線	318

## ◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	02:生涯学習の推進
	施策	01:生涯学習の基礎づくりと推進基盤の充実
	施策の内容	02:学習施設の整備、充実
根拠法令等	図書館法第3条、大仙市立図書館の管理及び運営に関する規則	

## ◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	開館時間及び開館日数がまちまちであり、合併時より課題になっており、総合図書館が設置されたことに伴い一体的な運営により、より多くの生涯学習の場を提供し、市民サービスの向上を図るために改正を行った。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	市民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①開館時間の統一 9時～18時(大曲は19時まで) ②休館日は資料整理日として月に1回 ③年末年始の休みは統一(12/29～1/4)
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	開館時間及び開館日数を拡大したことにより、市民サービスの向上を図ることにより、利用者、貸出冊数の増加。(拡大分の利用者6,701人、貸出冊数20,184冊)

## ◆実施Do

項目	名称	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 平均開館日数	日	309	322	344
	②				
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① 入館者数	人	268,127	282,221	289,370
	② 利用者数	人	59,226	71,981	77,954
	③ 拡大分の利用者数	人			6,701
投入コスト	決算額		15,252千円	15,828千円	17,316千円
		一般財源	15,252千円	15,828千円	17,316千円
			55,962千円	55,962千円	55,437千円
	人件費	一般職員の年間従事人数	5.9人	5.9人	5.9人
		一般職員以外の年間従事人数	7.7人	7.7人	7.7人
	総コスト (決算額+人件費)		71,214千円	71,790千円	72,753千円

事業を取り巻く環境	より多くの生涯学習の場を提供し市民サービスの向上を図るために整合性を図り運営している。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 事業の目的を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	市民はだれでも、どこに住んでいても、図書館サービスを受ける権利をもっており、自治体は、すべての市民が均質に図書館サービスを受けられるように努めなければならないと考える。また、仕事をしている方など夜間に利用したい方がいることから、17時以降開館することにより、利用者のさらなる利便性が図られるようにする必要がある。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	市民サービスの向上を図るために、地域性等を考慮しながら開館時間及び開館日数の拡大に努めた。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	B
	評価の理由	市民サービスの向上を図れることはもちろんのこと、利用者数及び貸出冊数の増加が見込まれた。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)	
現状	A 現状のまま継続	開館時間は9時～18時(大曲は19時まで)、休館日は資料整理日として月に1回、年末年始の休みは12/29～1/4までとし、市内全館の統一が図られた。 17時以降6,701人の利用(本の借入者)があり、貸出冊数についても20,184冊となった。
	B 改善しながら継続	
	C 拡大	
	D 縮小	
	E 廃止	